



樹妙だより

No.200 2023/1



2年生修学旅行（11/27～30）



明照学園 理事長
樹徳高等学校長
野口秀樹

新年明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては、
健やかに新春をお迎えのこと

とと、お慶び申し上げます。

また、学園に格別のご支援ご協力を賜り、
誠にありがとうございます。

改めて御礼申し上げます。

いつも笑顔を忘れないから
心がいつも朗らかだから
幸せへの感性が鋭くなる。
こんな小さな、些細な幸せを
簡単に発見し
心いっぱい楽しむことができる。
だから一層
心が明るくなる。

だから笑顔が光り出す。
これを幸せになる循環と言います。
この循環は
回り出すとどんどん大きく回り出します。
ちょうど風車のように。
小さな本当に小さな幸せを感じる
達人になろう。

コロナ問題、ウクライナ問題、円安問題など、いろいろなことを抱えている世界、日本であります。この先の見えない日本で塞がず、閉ざさず、明るい明日を夢見ながら生きてまいりたい。

この国の将来を背負っていく若者たちには特にそんなことを望みます。

そこで必要なのが「小さな幸せを見つける」生き方ではないかと思います。

今年のご一緒に小さな幸せを見つける達人になってみませんか。

合掌



樹徳高等学校 副校長
野村 聡

新年あけましておめでとうございます。よき新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。旧年中はご厚情を賜り、ありがとうございました。本年もよろしくお願い申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の波状的な流行とロシアによるウクライナ侵攻等により、私たちは「非連続」と表現できるほど見通しの立たない時代を生きています。そうした中で、令和4年度は新学習指導要領が年次進行で実施されるとともに、成年年齢が18歳に引き下げられるなど、高校教育にとって大きな節目となりました。文科大臣の「生徒を主語とした高校教育の実現にご理解とご協力をお願いします」という、全ての高校教育関係者宛のメッセージを深く心に留め、本校においても次のような新しい取組をしています。

(1)「総合的な探究の時間」において、1年生が「考えるための技法」や「探究の過程」等の基礎を学んでいます。4月からはグループ毎にテーマを決め、いよいよ探究活動を実践します。保護者、同窓会等、学校関係者の皆様には、様々な活動にご協力ご支援をお願い申し上げます。

(2) 新型コロナウイルス感染症への対策に予断を許さない状況において、高校生の学びを止めないために、1人1台端末の環境整備は重要ですが、本校においても、保護者の皆様のご理解により、4月には全生徒がクロームブックを保有し、活用できるようになります。

(3) 全教科において、従来の5段階評価に加え、①知識及び技能、②思考力、判断力、表現力等、③学びに向かう力、人間性等の資質・能力、という三つの観点に基づき学習評価を行います。来年度配付する通知表に表記しますので、保護者の方はご注目願います。

(4) コロナ禍で、保護者参観は実施できませんが、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け、「互観授業」と名付けた授業公開をとおして授業研修に取り組んでいます。授業改善についてもう少しお話しをすると、これまでの「一斉授業」と「学び合い」、「知識」と「思考」等といった二項対立の図式に陥らないことが大切だと思います。従来の指導に新たな手法を付け加えて、指導の引き出しを増やすための改善と考えています。生徒一人ひとりに持ち味があり、教員がそれぞれを尊重し、面白さを見だし、明るく

声かけができるかがポイントだと思います。また、生徒のモヤモヤとした「余白の時間」は深い学びに繋がりますが、社会の複雑化に伴って学ぶ内容が増大した「カリキュラム・オーバーロード（過積載）」が世界的な問題になっています。経済協力開発機構（OECD）の、「指導時間を増やすことは必ずしも学習成果に結びつかず、少ない方が豊か（Less is more）に学べる」という指摘は本校の状況を振り返る時の指針となるのではないのでしょうか。

次に今年から始まる気になる教育の動きについて言及します。文科省によると、令和5年度以降、休日の部活動が段階的に地域に移行します。部活動は言うまでもなく、参加する生徒にとって、豊かな学校生活を実現する上で大きな役割を有しますが、一方で、教員の献身的な勤務によって支えられており、長時間勤務の要因であることや、特に指導経験がない教員には多大な負担となっているとの声もあります。具体的には、平日において学校の活動として行われる部活動（学校部活動）と、休日において地域の活動として行われる部活動（地域部活動）に区分するようです。休日の指導を希望する教員は、顧問としての立場で従事するのではなく、兼職兼業の許可を得た上で、地域部活動の運営主体の下で従事することになります。

地域部活動の費用負担については、受益者負担の観点から、保護者が負担することなどが適切であると考えられています。今回の部活動改革については、主として中学校を対象としますが、高校についても同様の考え方を基に部活動改革を進められます。また、私立学校においても、公立学校における取組を参考にしながら、教員の負担軽減を考慮した適切な指導体制の構築に取り組むことが望ましいとします。部活動の地域移行は、家庭の経済格差を学校の部活動に持ち込むことになるかも知れません。また、学校の部活動をそのまま引き摺るような形で地域移行すれば、平日は学校で部活動、休日は地域で部活動となり、生徒が休みなく活動し続けることになりかねません。生徒の負担は減らないどころか、増えてしまうことが最も危惧されます。本校でもしっかり考えていきたいと思えます。

今年は卯年、生徒と共に足下をしっかりと見つめ、高い目標をめざして大きく、遠くまで跳躍し、「ブラボー（Bravo）！」と大声を張れる1年にしたいと願っています。

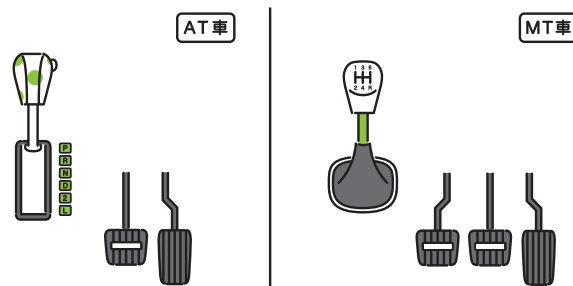
「趣味」

みなさんに趣味はありますか？ 趣味がある人は、とても素晴らしいと思います。自分が打ち込めることがあり、それに惜しみなく時間やお金をかけられることは、幸せなことだと思うからです。趣味は人を、さらには人生をより豊かにしてくれます。

私はずっと趣味とよべるものがなく、振り返ると、休日はだらだらと過ごす日が多かったように思います。しかし最近、「車」という趣味を見つけました。もともと車を運転したりすることは好きであり、自動車関係の企業に勤めていたこともありましたが、趣味として追求するほどのものではありませんでした。しかし、出会いは突然やってきました。ある日私は、車を修理に出すことになりました。そのときに修理をお願いした方が、見たこともない外国車や、カスタムした車を何台も持っており、そこで私の車に対する概念が大きく変わりました。そこから色々な話を聞いているうちに、「私もあの車が欲しい」とか「カスタムしてみたい」など、すっかりハマるようになっていったのです。今では、休日は車に触れていることが多くなり、だらだらと過ごす日はすっかり減りました。また、その影響の一つとして、MT車を運転できるように、今、頑張っています！ 免許取得を考えている3年生諸君、ぜひMT車をおすすめします。

興味がなかったものや、なんとなく好きだったもの、それが、何かのきっかけで「夢中になれるもの」になることはよくあります。私もそのひとりです。今では、夢中になれるものがあるのはとても楽しいことだ、と実感しています。先日、W杯がありました。日本代表の勇姿にとっても感動しました！ 中には、サッカーはよく分からないけどなんか良かった、と思った人もいるでしょう。それもき

かけのひとつだと思います。なんか良かったからJリーグを見てみよう、とか、周りが騒いでいるからグッズを買ってみよう、とか。何かしら時間やお金をかけてみようと思えば、それはもう趣味になりかけている、と言えるのではないのでしょうか。人生を豊かにしてくれる「趣味」。何かきっかけが見つかるといいですね。
(数学科 栗原あかね)



AT車とMT車のエンジン・ブレーキの比較
(eringo / Adobe Stock)

一月の法語
思ったら動かないと
形にはならない



桐生錦町一丁目

盛運橋薬局前

■ 樹徳コミュニティセンター「み法」

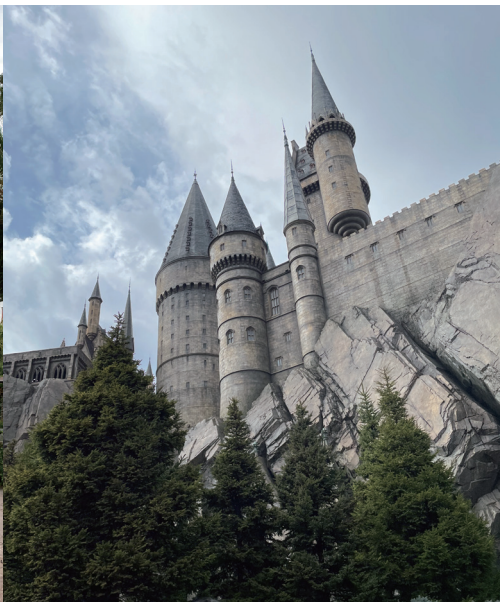
予定は特にありません。

2年生修学旅行特集

これまで本校では伝統的に京都方面への修学旅行を実施してきましたが、一昨年度からは平和学習を主眼とした、沖縄方面への修学旅行に改編される予定でした。しかし、コロナ禍のため、昨年度は北陸3県での修学旅行となりました。

今年度は、コロナの感染状況を踏まえて、伝統的な京都方面へと回帰し、11月27日～30日の3泊4日で修学旅行を行いました。その様子を、生徒が撮った写真でお送りします。





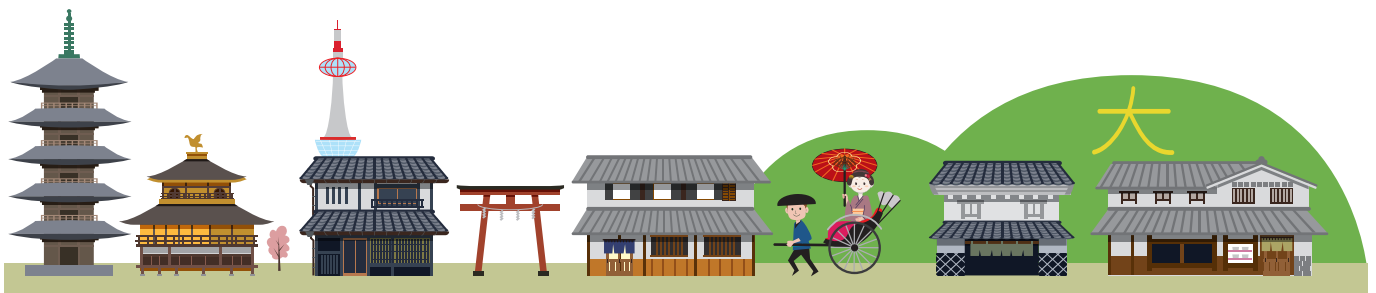
写真提供に協力してくれた人（敬称略）

2年 S S組 亀井英奈

2年 K組 石井園乃 石井萌絵 松浦珠奈

2年 S組 赤上誌侑哉

多くの写真を提供してもらいました。ありがとうございます。



一貫校中学校だより

◆自己肯定感

保護者の皆様、新年あけましておめでとうございます。皆様におかれましては、輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。本年も何卒宜しくお願い申し上げます。

さて、今回は子供の自己肯定感についてお話したいと思います。自己肯定感とは、一般的には自分を肯定できる感覚のことをいいます。長所だけでなく、自分の短所や弱み、悪いところも含めて、ありのままの「自分」を肯定する力です。子供の時に自己肯定感を高くしておく、将来、さまざまな困難や問題乗り越える力を蓄える土台が作られます。土台が安定していると、子供や大人に関係なく自分で問題解決の方法を考え、試行錯誤しながらでも行動できるようになるといわれています。コロナ禍が続く、より変化の大きくなるであろう時代に、自分らしく自信を持って生きていくためにも、子供の時に、自己肯定感を育てていくことが、とても重要であると考えています。

その一方、内閣府の調査結果によると、日本の若者は、諸外国の若者と比べて、自分自身を肯定的に捉えている者の割合が低い傾向にある、という結果がでています。では実際に、子供の自己肯定感を高めるにはどうしたら良いか、ということが重要になってきます。そこで、保護者様に二点ご提案をしたいと思います。一つ目は、子供に声掛けをする際、子供がネガティブな自己イメージを持たないように気をつけることです。例えば、「そんなこともできないの?」「早くしなさい」「もっとがんばりなさい」「ちゃんとしなさい」などを言わないことです。これらは、一見何気ない言葉であり、子供のことを思っただけの言葉なのですが、このようなことを毎日のように聞かされた子供は、知らず知らずのうちに、自己肯定感が低くなってしまいます。二つ目は、子供の長所を踏まえつつ、「すごいね」「いいね」と、シンプルに褒める機会を増やすことです。簡潔な言葉で褒めると押し付けではなく、子供が素直に受け入れやすくなります。褒めるときも、叱るときもよりメリハリをつけ、子供に接することをお勧めします。

参考資料 内閣府『令和元年版 子供・若者白書』

教頭 薊 法明

◆中学マラソン大会

12月9日(金)、琴平小梅公園にて中学校マラソン大会を実施しました。
一生懸命取り組み、生徒1人1人がベストを尽くすことができました。

【マラソン大会結果】

〈3年生男子の部〉

1位 近藤大翔 2位 城田樹 3位 福田博基

〈3年生女子の部〉

1位 藤井美麗 2位 生島結菜 3位 渡邊さつき

〈2年生男子の部〉

1位 高野旺美臣 2位 栗原義範 3位 鹿沼咲寿

〈2年生女子の部〉

1位 下山芽吹 2位 大豆生田花音 3位 福田順

〈1年生男子の部〉

1位 戸部佑哉 2位 長谷川煌 3位 桑原魁士

〈1年生女子の部〉

1位 金子心奏 2位 内田理央 3位 大川久琉美



◆中学生修学旅行

11月25日(金)～28日(月)、中学3年生が京都・大阪を修学旅行で訪れました。

【感想】

・修学旅行ではみんなと協力して一から予定を決めたり、今まで授業で習ったものを実際に見に行ったりしました。本当に勉強になることばかりで、はじめての宿泊も伴ったため、とても思い出に残る行事でした。道に迷ったり、バスに乗り損ねたりと大変なこともあったけど、とても楽しかったです。(A.T)

・修学旅行を通して、京都の歴史、また、集団行動について学ぶことができました。初めての宿泊を伴う行事でしたが、クラスメイトや友達と笑い合い、助け合った4日間は思い出に残る貴重な体験になりました。修学旅行の実施に感謝いたします。ありがとうございました。(M.F)



幼稚園だより

◆令和5年、新しい年を迎えて

新年明けましておめでとうございます。本年が皆様にとって素晴らしい一年となりますようにお祈り申し上げます。今年も樹徳幼稚園をよろしくお願いいたします。

さて、昨年末の11月から12月にかけて、サッカーワールドカップカタール大会で、日本国内はもとより、世界中で大いに盛り上がりました。日本の成績は、ご存じのとおりですが、この大会の中で、試合結果だけでなく、他の国では考えられない場面が世界の人たちから賞賛を浴びたことがありました。それは、観客席のサポーターと選手が試合後に、自分たちが利用した観客席や選手控え室を清掃し、きちんと片付けて帰っていくとい



うことでした。特に、選手は一戦一戦緊張感の中で勝つために全力を出し切り、試合終了後は精根尽き果てた状態ではないかと推測できますが、そういう中で、勝っても負けても控え室を出る前にきれいに片付けて去っていくことが、日本代表選手の伝統的行為となっているそうです。今回の大会中に、FIFA(国際サッカー連盟)が公式ツイッターで、日本選手が引き上げた後のロッカールームの写真を投稿しました。そこには、更衣室内がきれいに整理整頓され、主催者への敬意としてテーブルに折り鶴が置かれている様子が写っていました。このような日本人による他者への心遣い、ボランティア精神が、世界各国の人たちから絶賛されました。

樹徳高校や中学校でも、11月の終わりに新川公園周辺の落ち葉清掃を生徒が行っております。その他募金活動など、いろいろな奉仕活動に取り組んでおります。とても素晴らしいことです。新しい年を迎え、幼稚園でも、「相手の気持ちを考えて行動できる子」「自分が役に立つ喜びを感じられる行為を進んでできる子」を育てていきたいと、サッカー日本代表選手の行為から考えた次第です。

◆3年ぶりに樹徳高校勢至ホールで開催した「なかよし発表会」

昨年12月17日(土)、3年ぶりに「なかよし発表会」を樹徳高校勢至ホールで開催いたしました。この勢至ホールでの開催は、「一度は大きな会場で発表させてあげたい」という年長組の保護者の願いでもありましたが、実現できて良かったです。

本番を迎えるに当たり、各学年の子どもたちは毎日一生懸命練習に励んできており、練習の成果を自分の親に観てもらいたいという思いが、前日のリハーサル時からひしひしと伝わってまいりました。でも、実際にたくさんの保護者がカメラやビデオを構えている様子を目の当たりにすると、やはり緊張感が感じられます。

発表は、各学級の劇からスタートし、2歳児組の劇「いらっしやい」、満3歳児組の劇「大きなかぶ」、年少組の「3びきのこぶた」、年中組の劇「ポンタのじどうはんばいき」、年長組の劇「寿限無」の順で披露されました。どの発表も大きな声ではっきりとした言葉、そして大きな動きで、観ている人たちに感動を与えました。そして、休憩を挟んで、各学級によるリトミックや歌、合奏が行われました。最後まで参観していただいた保護者の皆様にとっては、自分のお子さんがここまで発表できた驚きと成長の喜び、素晴らしいできばえに、心を動かされた発表会になったことと思います。

発表会を終えた一人一人の子どもたちの顔からは、自信と満足感、達成感が伝わってきます。「なかよし発表会」をしっかりとやり遂げた子どもたちの、3学期の活躍が楽しみです。

園長 佐野 悦生



入園児募集中

◎2歳児・満3歳児・3歳児の入園をお待ちしております。

◎募集人員 2歳児 10名、満3歳児 10名、3歳児 10名

○入園受付：1年を通して随時受付、入園できます。見学もいつでもできます。

○お問い合わせは、樹徳幼稚園 佐野まで。 ☎0277-53-5571

1月(持戒)の行事予定

日	曜日	高等学校(本校)	一 貫 校	幼 稚 園
1	日	元旦 悔過修正会	元旦	祝日(元日) 年末年始休業日
2	月	振替休日 年始挨拶訪問		年末年始休業日
3	火	職員休暇		年末年始休業日
4	水	9/10振替休日		冬季休業日 預かり保育④ 仕事始め 安全点検日
5	木	授業料納入日 運営委員会⑤ 推薦・学奨入試打合せ会議(16:10～)		冬季休業日 預かり保育⑤
6	金	始業式・大掃除・学年別一斉指導 入試会場作成	始業式	冬季休業日 預かり保育⑥
7	土	推薦・学奨入試試験 職員出勤日	樹徳高等学校推薦・学奨入試	開園日(預かり保育)
8	日			
9	月	成人の日		
10	火	マイトリー基金抛金日 大学入学共通テスト直前演習～11日まで		3学期始業式 保育料納入日
11	水	入試審査準備会 推薦・学奨入試試験審査会 県校長会 一般ステップアップ入学試験ネット出願(受験生)～19日まで		英語・文字(年長)
12	木	校内書き初め大会 一般入学試験出願書類提出期間～20日まで	高校校内書き初め大会	体育・文字(年中)
13	金	大学入学共通テスト出陣式		お誕生会(12・1月生)
14	土	大学入学共通テスト1日目 1、2年ベネッセ総合学力テスト		開園日(預かり保育)
15	日	大学入学共通テスト2日目		
16	月	LHR 推薦・学奨入試合格発表日 学年主任会⑨ 大学共通テスト自己採点		リズム(全)・線(年少)
17	火	鏡開き 日私中高連常任理事会		
18	水			お茶のお稽古⑥(年長) 英語
19	木	県高P連次年度役員候補者推薦委員会(生涯学習センター)		体育・文字(年中)
20	金	書写技能検定③ 制服アフターサービス	漢字検定 三越アフターサービス	文字(年長)
21	土	職員出勤日 第1回入学手続き(9:00～) 英語検定③一次	第1回入学説明会 英語検定	開園日(預かり保育)
22	日			
23	月	朝礼 国公立大出願検討会 教科主任会⑧		リズム(全)・線(年少)
24	火			ボール投げ教室 読み聞かせ
25	水	法然上人忌 1、2年生中間試験・3年生総合コース卒業試験～27日まで	中間試験 (中学～26日まで、高校～27日まで)	英語・文字(年長)
26	木	一般・ステップアップ入試打合せ会議		体育・文字(年中)
27	金	一般・ステップアップ入試会場作成 大掃除 出欠統計提出	中学進研学力推移調査	
28	土	一般・ステップアップ入学試験 職員出勤日		開園日(預かり保育)
29	日	一般・ステップアップ入学試験採点		
30	月	生徒家庭学習 1/29振替休日		リズム(全)・線(年少)
31	火	入試審査準備会 一般・ステップアップ入学試験審査会 1・2年基礎力診断テスト(総)		読み聞かせ



樹徳高等学校
樹徳中学校
樹徳幼稚園

〒376-0023 群馬県桐生市錦町一丁目1番20号
TEL 0277-45-2258 FAX 0277-47-1671 Mail j-koukou@jutoku.ed.jp

〒376-0022 群馬県桐生市稲荷町4-12
TEL 0277-45-2257 FAX 0277-45-2262 Mail j-chugaku@jutoku.ed.jp

〒376-0013 群馬県桐生市広沢町三丁目4475
TEL 0277-53-5571 FAX 0277-53-5572 Mail j-youtien@jutoku.ed.jp

Web <https://www.jutoku.ed.jp/>

発行責任者 野口 秀樹 印刷所 太陽印刷工業(株)

夢は大きく 根はふかく